

東洋陶磁学会 2004年(平成16年)度 事業報告

総会

日 時 平成16年5月29日(土)午後1時～
会 場 東京国立博物館資料館セミナー室
記念講演 「景德鎮一千年記念にちなんで」金 沢 陽

大会(参加者 136名)

日 時 平成16年12月11日(土)・12日(日)
会 場 東京国立近代美術館
テーマ 「近・現代の陶芸」

日 程

11日(土)午後1時半～

- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 長谷部楽爾
- ・記念講演 「富本憲吉と陶芸の〈近代〉」 乾 由明
- ・研究発表
 - 「ワグネルと旭焼」 佐藤 一信
 - 「昭和の桃山復興—陶芸家と近代」 木田 拓也
 - 「アメリカ現代陶芸の系譜」 唐澤 昌宏

12日(日)午前9時半～

- ・研究発表
 - 「板谷波山の古典研究」 荒川 正明
 - 「柳宗悦“来るべき工藝”の次代を担った陶工—船木道忠と高橋一智」 諸山 正則
 - 「八木一夫の作家性」 外館 和子
- ・シンポジウム「近代陶芸100年」
榎本徹・伊藤嘉章・唐沢昌宏・外館和子
進行:金子賢治・
- ・見学会
東京国立近代美術館工芸館
 - 「もう一つの富本憲吉」(企画展)
 - 「近代陶芸名品展」(所蔵作品展)
 - 「人間国宝・巨匠展」(所蔵作品展)

研究会

東日本地区 3 回

6 月 12 日(土) 2:00pm 根津美術館

鈴木裕子(株)四門「仁清窯址出土の窯道具について」

西田宏子(根津美術館)「仁清の茶碗からみた仁清窯」。

10 月 16 日(土) 2:00pm 東京国立博物館資料館セミナー室

徐景淑(慶應義塾大学大学院)「青磁象嵌筒形高麗茶碗の考察—韓国陶磁史におけるその位置付け—」

橘倫子(神戸大学大学院)「篠山藩窯“王地山焼”—開窯期ならびに経営主体の再考—」

2005 年

2 月 12 日(土) 1:00pm 東京国立博物館資料館セミナー室(予定)

三笠景子(慶應義塾大学大学院)「北宋期越州窯青磁の再考察—日本における受容の様相」

佐藤サアラ「景德鎮官窯の二元性—成化闘彩の新たな位置付け」

今井敦(東京国立博物館)「明代後期の官窯器にみられる漆器の影響について」

西日本地区 3 回

5 月 8 日(土) 2:00pm 高槻市生涯学習センター

橋本久和(高槻市教育委員会)・西川寿勝(大阪府教育委員会)「大阪府下の近世窯の諸問題—発掘成果を中心に—」

10 月 9 日(土) 1:30pm 金沢大学文学部会議室

小川光彦(金沢大学大学院)「鷹島海底遺跡出土の舶載陶磁—元軍携行の南宋末・元初の中国陶磁器—」

中矢進一(石川県九谷焼美術館)「江戸前期における鍋島家と前田家の姻戚関係について

—伊万里と九谷を繋ぐ歴史的背景の—考察—」

11 月 7 日(日) 11:00am MIHO MUSEUM(午後美術館のシンポジウム有り)

畑中章良(MIHO MUSEUM)「乾山—幽邃と風雅の世界—」

学会誌

第 34 号:平成 17 年 3 月発行「中近東の陶磁」(第 31 回大会発表を中心に)

会報

第 53 号:平成 16 年 8 月 発行(考古編)

第 54 号:平成 16 年 9 月 発行(総会記念講演編)

第 55 号:平成 17 年 3 月 発行(大会記念講演編)

常任委員会

第 1 回:平成 16 年 5 月 12 日 於出光美術館

第 2 回:平成 16 年 5 月 29 日 於東京国立博物館

第 3 回:平成 16 年 12 月 11 日 於東京国立近代美術館

第 4 回:平成 17 年 3 月 2 日 於出光美術館

編集委員会

第1回:平成 16 年 6 月 12 日 於根津美術館

会員拡充

その他

学会誌バックナンバー・『東洋陶磁史—その研究の現在—』配布